義務教育専攻

社会専修

募集人員 71名

詳細はコチラ

「まずは自らが学ぶことを楽しむ」

専門分野の「学び」を自ら積極的に追究することで、子どもたちの多様な考えを引き出すプロフェッショナルを目指します。

「社会に向き合う力を持った子どもたちを育てるために、さまざまな視点から学びを深める」

現代社会が抱える諸問題に向き合い、自ら考えて行動できる子どもを育てることができる、確かな実践力を持った教員の育成を目的とします。社会科教員にとって必要な基礎を育成する「専攻基礎科目」を学び、専門的資質や能力を高める「専攻科目」や「教職実践開発科目」で確かな実践力を身に付けます。

2024年函館フィールドワーク

2024年函館フィールドワーク

2024年函館フィールドワーク

4年間の学び

1年次は基本的なことを広く学び、2年次以降は哲学・史学・地理学・法経社4つの履修コースに分かれて、専門性を深めるための学修を進めていきます。どの履修コースでも地歴科・公民科教育学を共通して学びます。3年次になると、履修コースの中から所属するゼミを選び、より専門的な研究を進めます。また、教育実習など実践的な学びも増えていきます。4年次には、教員採用試験などに取り組むとともに、指導教員の指導を受けて学修課程の総決算としての卒業研究を完成させます。それぞれ特色ある学修内容が4つの履修コースで行われています。中でも、地理学コースでは1年に一度、野外実習を4日程度日本各地で行い、フィールドワークや教材作りを行っています。

取得できる免許

［ 卒業要件に含める免許状 ］
小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状（社会）

［ 取得を優先して薦める免許状 ］
中学校教諭一種免許状（社会）

［ 所定の科目履修で取得可能とする免許状 ］
高等学校教諭一種免許状（地理歴史もしくは公民）
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 社会専修4年
愛知県立五条高等学校出身

実感したのは、社会と向き合い、自身の興味を探求する面白さ。そんな学びの楽しさを子どもたちに届けたい。

児童や生徒に教えるための教育的視点からの「社会」と、専門的視点からの「社会」、両方から学びを深めています。私自身は政治や経済に興味があり、選挙の投票率を上げる方法を研究しています。「なぜ？」「どうしたら？」と自身の興味を掘り下げていくプロセスはとても面白く、この経験を子どもたちへの指導へ生かしていきたいと思っています。現場経験豊富な先生方の指導も心強く、「より良い学級づくりの方法」「教員採用試験に役立つ知識」など、具体的なアドバイスをいただいています。

■ 2023年 2年次後期の時間割（例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等算数科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等社会科教育法CⅠ	道徳教育の理論と方法
2時限	初等図画工作科教育法A		学校体験活動Ⅰ		
3時限	哲学史概説Ⅱ	学校教育におけるICT活用	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	日本史概説Ⅰ	
4時限				倫理学基礎演習	社会学概説
5時限	キャリアデザインⅡ				

＊上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式（オンデマンド型）で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。